

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2013年11月18日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

生活が大変！ 失業して所持金ゼロの方も

11.17 しろいしSOSなんでも相談会 相談件数は昨年上回る31件



11月17日(日)、「しろいしSOSなんでも相談会」が行われ、24人から31件の相談が寄せられました(昨年の1.5倍です)。

相談者は20代から高齢者まで、相談内容も法律相談や生活相談、医療介護、年金などの多様でした。

当日の相談員や要員は19団体36人で、昼食にカレーライスも用意しました。

「生活できない」「国保料が高い」 貧困が広がっている

生活相談では「娘が短時間の仕事しかなく、貯金を切り崩して生活している」「65歳の母は無年金で生活できない」、医療・国保についての相談では「病気を抱える家族が複数いるが、国保料が高すぎて払えない」「国保料を滞納についての弁明書通知書が届いた(資格証明書を発行する)がどうしたらいいのか」などが寄せられました。

事務局の東部民商の中澤さんは「アベノミスで景気回復と喧伝されていますが、庶民にはまったく実感がありません。失業や、本人、家族の病気や事故などによる生活や労働環境の変化に家計やくらしがついていけず、貧困の淵に追いやられている状況が見えてきます」と話します。 相談活動を広げましょう。

■失業中の40代女性
「母親と子2人の4家族。
母のパート収入だけでは生活できない、所持金ゼロ。
明日の食糧もない」

町内会でもお知らせ 約2万枚のチラシ まちづくりセンターにポスターも掲示

今回は、より多くの方に知ってもらおうと、町内会にも案内チラシの配布をお願いしました(4つの町内会で回覧板など案内)。各団体の機関紙や新聞折り込み、集合住宅、勤医協関係の秋の訪問行動など、配布したチラシは約2万枚です。まちづくりセンターにポスターも掲示しました。

今後も各地で相談会 (予定)

■11月24日(日)	えべつSOSなんでも相談会	9:30~14:30	江別市野幌公民館
■12月8日(日)	きよたSOSなんでも相談会	9:30~14:30	清田区真栄地区会館
■12月10日(火)	東区SOSなんでもなんでも相談会	17:30~20:30	東区区民センター
■12月17日(火)	SOSネット北海道 電話相談会	10:00~18:00	
■12月19日(木)	SOSにしく相談会	14:00~19:00	西区民センター1階
■12月26日(木)	反貧困ネット「労働・生活の総合相談会」	10:00~16:00	チカホ

生活保護基準引き下げやめろ！ 再審査請求で闘い続けます！

—不服審査請求に対する不当な道知事の裁決に対して—

生活保護制度を良くする会

8月から実施された生活保護基準の引き下げの中止を求めて、全道で、生活保護利用者の1%となる約1400世帯が審査請求を行いました。これに対し、北海道知事は11月13日(水)「棄却」の裁決を行いました。

11月18日、生活保護制度を良くする会は、この裁決に対して、「国に従い、生活保護利用者の生活実態や困難を見ようとする不当な道知事の裁決に、(厚生労働大臣に対して)再審査請求を行って、断固として闘い続けます」と声明を出しました。

会では、11月26日(火)に、直接、厚生労働省に再審査請求書を届けます。

審査請求をした方への連絡や再審査請求の方法は、別途お知らせします。